

礼文町立船泊中学校

1 活動の概要

本校では、修学旅行で訪れた札幌駅地下歩行空間において、礼文町の観光PRを行いました。生徒のコミュニケーション能力を高めること、礼文町のよさを理解してもらうことをねらいとして、礼文町の名産の「ほっけの燻製」や観光パンフレット、生徒手作りの押し花カードなどを配布する活動を行いました。

2 活動の様子

その1～ほっけの燻製「ほっけくん」と手作りの「押し花カード」の配布

地元の漁業協同組合の支援を受けて製作したほっけの燻製「ほっけくん」を200袋分準備しました。

また、生徒が作った「押し花カード」など礼文町をPRするグッズも集まった人々に配布しました。

準備した300袋分は、約10分間でなくなってしまうほどの大人気でした。



【ほっけの燻製等の配布】



【ポスターの紹介】

その2～礼文町の観光ポスターの紹介

礼文町観光課が作成した観光ポスターを使用して、映画のロケ地や温泉施設などを紹介しました。

その3～はっぴの着用

観光大使用として製作したはっぴを着用して礼文町のPRを行いました。「礼文船泊中」と書かれており、多くの人々から注目を浴びました。



【はっぴの着用によるPR】

《生徒の感想》

○ とても人が多く、短い時間での説明となりましたが、しっかりと礼文町をPRすることができました。この活動が終わった時、「礼文町に興味をもってもらえるようにPRをすることができた。」という充実感を感じました。

3 Naviポイント

- 学習活動に対する生徒の主体性を育み、地域のよさが伝わるように多様な表現方法を考えさせることが大切です。
- 地域のよさを第三者にPRする活動を位置付けるなど、地域の自然や文化、産業などの特色を客観的に振り返る機会を設定することが大切です。